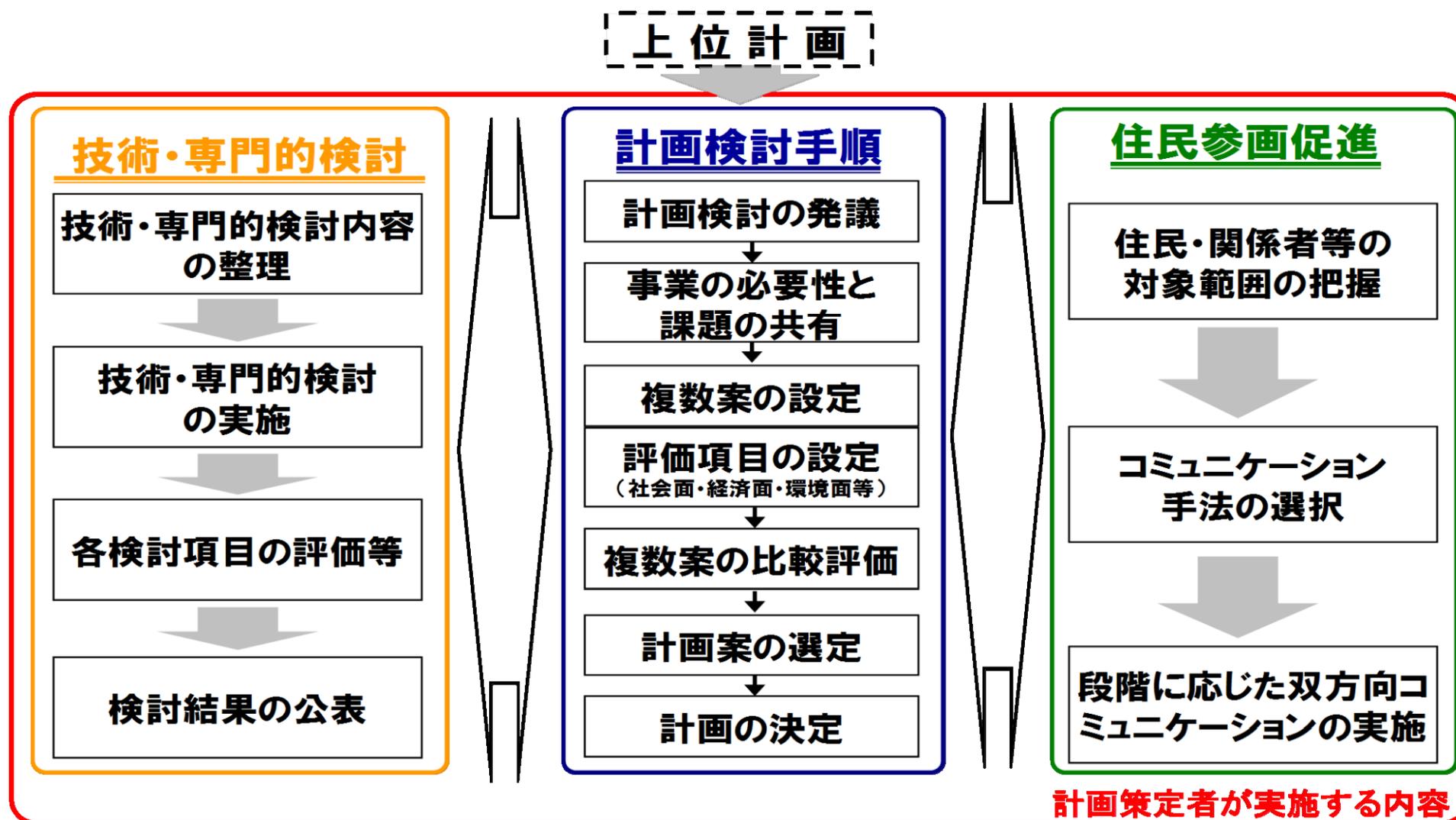




(1) 基本的な考え方(計画策定プロセスの体系)



計画策定者が実施する内容

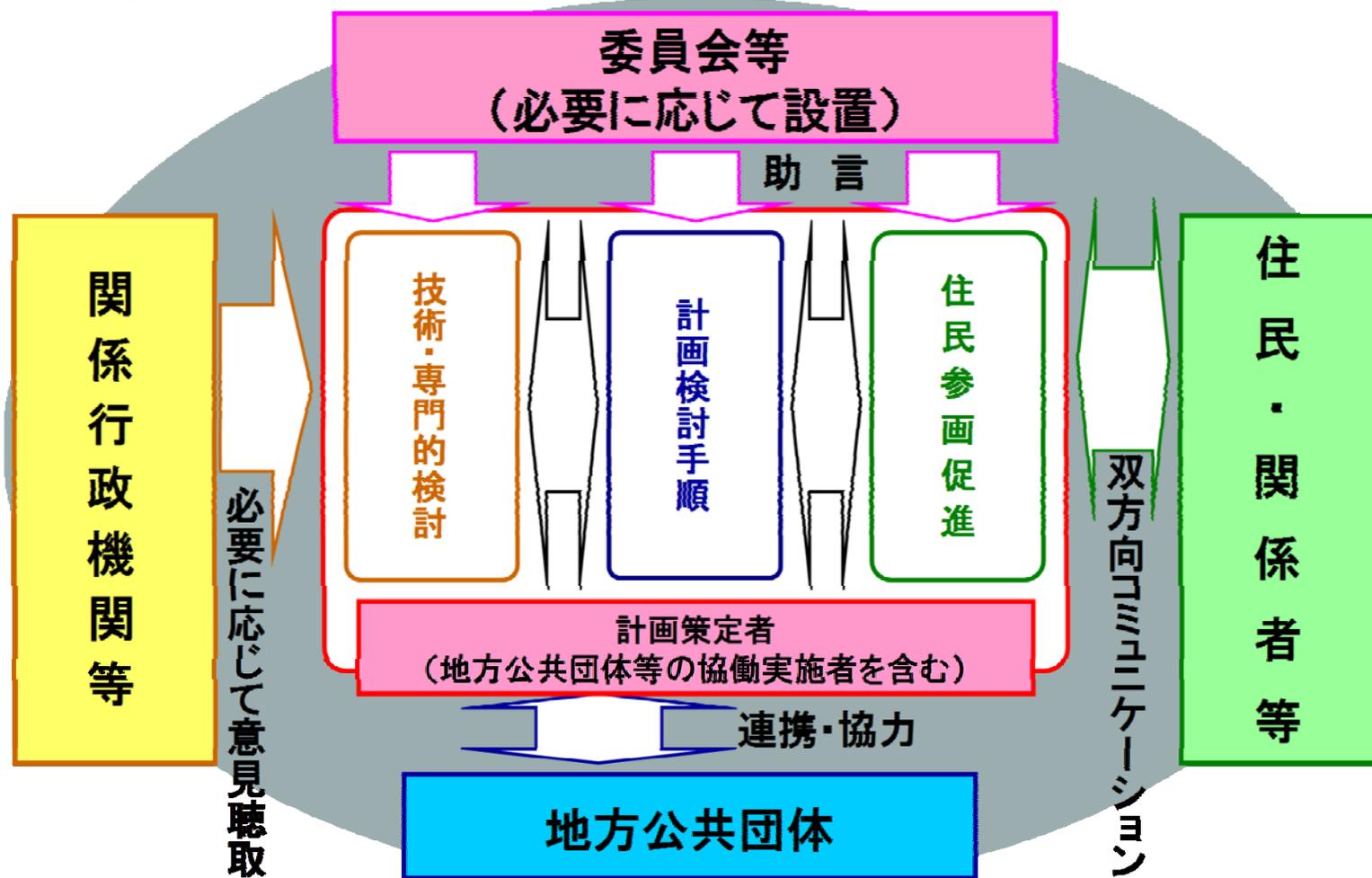
[より詳細な計画案を作成し、所要の法に基づく手続き等を実施]

[着工]

(1) 基本的な考え方(計画策定プロセスに関わる主体)

■ガイドラインにおける関係主体の位置づけ

基本的に計画策定者が実施すべき事項を定めたものであるが、住民・関係者等、学識経験者、地方公共団体、関係行政機関等、様々な主体の計画策定プロセスにおける関わりを明示した。



(5)委員会等(委員会等の役割)

委員会等(必要に応じて設置)

技術・専門的検討に対して
助言等を行う委員会等

- データや解析手法
- 検討内容・検討過程・
検討結果の妥当性

計画検討手順に対して
助言等を行う委員会等

- 手順の進め方
- 各手順及びスケジュール
の管理

住民参画促進に対して
助言等を行う委員会等

- 住民参画の進め方
- 適切に行われているか
の確認

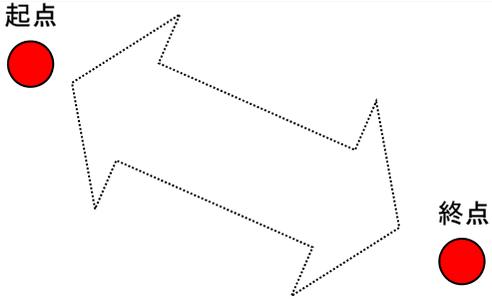
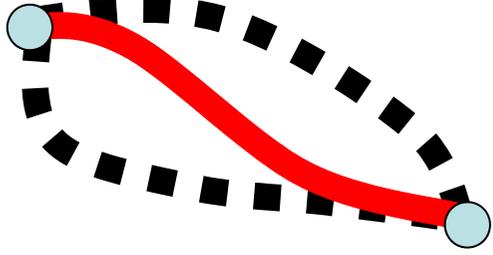
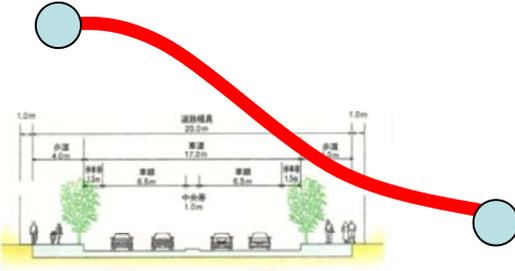
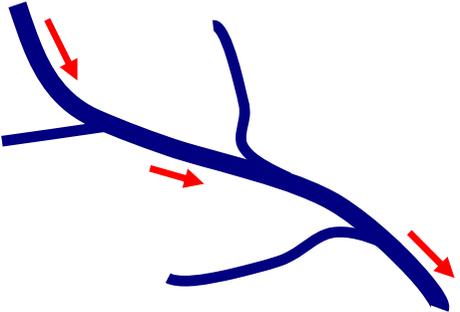
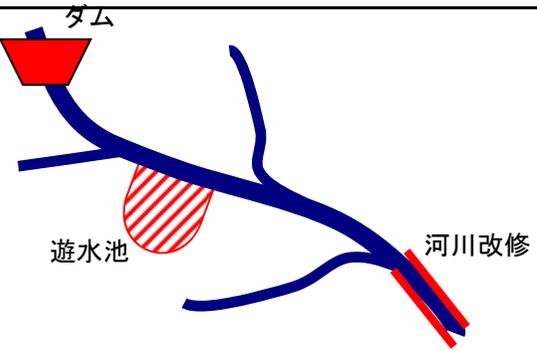
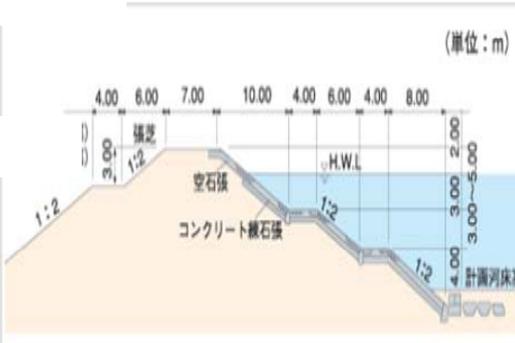
技術・専門的検討

計画検討手順

住民参画促進

※技術・専門的検討に対して助言を行う委員会等は助言や確認に留まらず、計画策定者の諮問に応じて具体的な検討や提言等を行う等の役割を担うことも考えられる。

■ 構想段階とは・・・

	上位段階	構想段階	詳細段階
道路事業	 <p>広域的な土地利用や交通需要等を踏まえて、面的な交通計画、道路網整備に関する方針を決定する段階 ※起終点や主な経過地を決定</p>	 <p>概ねのルートや位置や基本的な道路構造等を決定する段階 ※2.5～5万分の1のスケールで、幅250～1km程度のルート帯</p>	 <p>事業実施の前提となる計画(都市施設の都市計画等)を決定する段階 ※具体的なルートや構造を決定(2.5千分の1以上のスケール[都市計画(計画図)])</p>
河川事業	 <p>長期的な視点に立った河川整備の基本的な方針を決定する段階 ※主要地点の基本高水、計画高水流量等を決定</p>	 <p>20～30年後の河川整備の目標を決定する段階 ※ダム、遊水池、河川改修等、個別事業の具体的な整備の内容(位置・規模等)を決定</p>	 <p>個別事業の詳細設計を実施する段階</p>